

県内経済の動き

概況

〔2024年9月～2024年11月の動き〕

緩やかな回復が続く

鉱工業生産指数（9月）は3カ月ぶりの前月比上昇、通関輸出額（10月 細島港）は2カ月連続で前年同月比減少した。百貨店・スーパー販売額（10月 全店ベース）は3カ月ぶりに前年同月比減少、「軽」を含む乗用車の販売台数（11月）は3カ月ぶりに前年同月比減少した。新設住宅着工戸数（10月）は4カ月連続で前年同月比減少し、公共工事（11月 保証対象請負総額）は4カ月ぶりに前年同月比増加した。有効求人倍率（10月）は前月比横ばいの1.32倍で、11月の企業倒産は前月比7件減の1件、負債総額は同4億9百万円減の21百万円となった。

11月は新たな商業施設の先行開業や、国際定期便「宮崎ー台北線」の再開など本県経済にとって追い風となる動きがみられた。購買意欲の高まりやインバウンド増加による経済活性化が期待される。